



第41号

発行日

2015年7月15日  
〔隔月15日発行〕

# 石産協通信

sekisankyo tsuushin



一般社団法人  
日本石材産業協会  
The Japan Stone Industry Association

東京都千代田区神田多町2-9 日計ビル2階  
Tel:03-3251-7671 Fax:03-3251-7681  
http://www.japan-stone.org/  
企画・編集・発行:広報委員会

## ▶第6回定期総会報告1

# 第6回定時総会

2015年6月25日(木) 大阪市中央公会堂

第6回定時総会が大阪で開催されました。議事内容は、2014年度事業・会計報告、2015年度事業計画、事業予算、理事新任者及び組織図議案に加え、定款、会費変更について審議され、採決により可決されました。

詳細は事前配布しました総会資料をご覧ください。

(定款、会費変更の具体的な変更内容について、P2に別途掲載しました。)

総出席者  
270名

(※定足数は正会員数の3分の2以上とする。)

議決権出席者(正会員)

181名

委任状数(正会員)

686名

合計

867名



大阪市中央公会堂

1918(大正7)年11月に完成された、赤レンガの壁に青銅のドーム屋根のネオ・ルネサンス様式の建物。コンサートや講演会などが開催される、大阪文化の発信地として親しまれている。



(一社)日本石材産業協会 会長

いばかつゆき  
射場一之

## 一人ひとりが主人公の石産協をつくる

去る6月25日、「第6回定時総会」を大阪で開催させていただきました。東京以外での「定時総会」の開催は、当会発足以来14年目にして初めての試みでした。総会には270名ものご出席を、祝賀会には230名を超えるご出席をいただきました。本総会にご理解とご協力をいただきました皆さまに心から御礼申し上げます。

また、今回の総会の開催は近畿地区をあげて準備にあたっていただきました。実行委員会の開催は実に12回にもおよび、水野地区長が実行委員長として力強いリーダーシップを発揮していただきました。そして三崎滋賀県支部長、芳村京都府支部長、村上大阪府支部長、大石奈良県支部長、能島兵庫県支部長が副実行委員長としてそれを支えてくださいました。各支部からは実行委員を輩出していただき、さらに当日の運営には実に多くの近畿地区の会員の皆様がお手伝いくださいました。また、戸高年次大会2014実行委員長も埼玉から度々実行委員会に足を運んでくださり色々アドバイスを下さいました。

昨年度は対内重点活動として「①義務的・事務的活動からの脱却②支部活動の活性化と地区内交流の促進③地区、支部、部会、委員会の連携強化」をあげさせていただいておりましたが、今回の総会運営に関わってくださった皆さまが見事にそれを体現させていただきました。

対外重点活動として掲げておりました「①『お墓参りという習慣のもたらす心の豊かさ』の発信」「②『身近に石のある暮らしの豊かさ』の発信」については、可能な限り多くの機会を得て、手を変え品を変え取り組みました。また、「③歴史的石造物並びに知財の保護」については、愛媛県支部と四国地区が先進的に取り組んでくださいました。

さて、本年度は「『一人ひとりが主人公』の石産協をつくる」というスローガンを掲げさせていただきました。人は支えあって人です。一つひとつの「課題」という穴を、一人ひとりが埋めていければいい—私はそう考えています。個性をぶつけ合うのではなく、個々の個性を輝かせることで互いを照しあう。個性の違いにいらだつのではなく、その違いを認め、楽しみ、それぞれの持つ個性に応じてエンドユーザーや業界、他の会員のために自分の個性を発揮する—そんな石産協をつくりたいと思っています。

そして、地区、支部活動、部会活動、委員会活動を活性化したい。なぜなら、支部が支部らしく、部会が部会らしく、委員会が委員会らしくなることによって、石産協がより石産協らしくなる、と考えるからです。

「今」は、過去からの授かりものであり、未来からの預かりものです。今の私たちの活動が、将来へとつながります。石材業界を取り巻く現実には厳しい。しかし理想と現実の違いを自覚しつつ、現実には埋没もせず、理想の殻に閉じこもりもせず、理想と現実の間に橋を架けたいと思っています。どうか、あなたの個性を輝かせてください。

▶第6回定期総会報告2



白木秀典 副会長

# 「定款変更」第6回定時総会で可決。

2009年、一般社団法人日本石材産業協会が設立されました。任意団体から引き継ぎ作成された定款は変化する時代の中でそぐわない点がしばしば見られました。そこで、2014年度に定款・諸規則検討特別委員会が発足され、白木副会長が委員長を務め様々な観点から協議を重ねてまいりました。第6回定時総会では以下の点について会員の承認を得、施行されることになりましたので、ご報告いたします。(定款は石産協ホームページから閲覧できます。ご希望の方にはご郵送いたしますので事務局までご連絡ください。)

## ■定款変更点の抜粋(2015年6月25日施行)

<p><b>第1章 総則</b> 【事業】第4条</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会員の品位の保持及び資質の向上を図るための指導及び連絡</li> <li>2. 消費者に対する石材及び石文化の啓発活動及び相談窓口の設置及び運営</li> <li>3. 取引における信義則を助長するため、必要な規則の制定並びにその実施</li> <li>4. 石材産業の進歩改善に関する調査を行い、公正かつ健全な発展を促進するための方策の立案ならびにその実施</li> <li>5. 石材に関する技術並びに知識の向上を目的とする講習会、講演会、試験などの開催、その他の方法による指導及び啓発活動</li> <li>6. 歴史的石造物並びに知財の研究および保護</li> <li>7. 石材産業に関する出版物の刊行及び著作物の制作</li> <li>8. 国会、行政、関係官庁等に対する意見の具申と建議</li> <li>9. 諸団体との折衝および連携</li> <li>10. 会員の福利厚生に関する研究、立案ならびに実施</li> <li>11. 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成させるために必要な事業</li> </ol>	<p><b>第2章 会員</b> 【種別】第6条 本会の会員は、次の2種として、正会員をもって一般社団法人に関する法律(以下「法」という)上の社員とする。</p> <p>(1) 正 会 員 ▶ 本会の目的に賛同して入会する日本国において石材業に携わる法人(但し、中小企業等協同組合法に基づく協同組合は除く。以下、同じ)及び個人。</p> <p>(2) 特別会員 ▶ 本会の目的に賛同し、学識、技芸において本会に貢献する法人及び個人</p> <p>【入会】第7条 (4) 会員はいずれかの地区・支部及び部会に所属しなければならない</p> <p><b>第3章 役員</b> 【任期】第15条 理事及び監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会までとする。ただし、再任を妨げない。</p> <p>(4) 会長の任期を1期2年とし、上限を4期までとする</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

上記第2章 会員の変更に基づき、以下の入会審査基準も変更されます。

## ■(\*補足)入会審査基準

**第1条** 定款第6条(1)に定める石材業とは、以下の業種をいう

(1)採石業 / (2)石材加工業 / (3)石材製品、原石の販売業 / (4)石工事業 / (5)原石、石材製品の輸出入業  
(6)石材の運搬業、石材加工機械及び工具の製造販売業、業界紙の発行などの関連業  
第2条を削除(以降繰り上がる)

このように、これまで正会員・準会員が存在していましたが全ての会員が正会員に統一されます。また、第3号議案では会費変更についても承認されました。その目的と変更内容は以下のとおりです。

- 1) 新事業、地区支部・部会・委員会の事業の拡充のため。
- 2) 現在の理事旅費の補助を増額し、理事の負担を軽減する。

現 行			変更後(2016年度から適用)		
会員種別	従業員数(人)	年会費	会員種別	従業員数(人)	年会費
A	~5	¥ 24,000	A	~5	¥ 26,000
B	6~10	¥ 30,000	B	6~10	¥ 36,000
C	11人以上	¥ 36,000	C	11~20	¥ 42,000
J	人数制限なし	¥ 24,000	D	21~30	¥ 48,000
			E	31人以上	¥ 54,000

2015年度の年会費請求書を送付した際に、現在の会社登録内容の確認票を同封いたしました。従業員数に関しては以下の点に注意し、申告してください。

- ・従業員とは役員を含む、総ての働く人。
- ・従業員としての基準は月間80時間以上勤務している人(アルバイト・パートを含む)。
- ・従業員数には、石材業に携わらない人も含むものとする。
- ・従業員数の変更があった場合はすみやかに変更届を提出する。(3月31日までに変更の連絡があった場合翌年度からの会費変更反映されます。)

定款諸規則検討特別委員会からのお知らせ

**団体保険制度について**  
賠償責任保険制度ができました。詳しくは同封の案内をご覧ください。  
引 受 会 社 : 東京会場日動火災保険会社  
保険問合せ先 : 東海日動パートナーズ TOKIO 品川支店 TEL:03-6826-8200



▶第6回定期総会報告3

# 「笑いと商い」 in 大阪 何かが見つかる。何かを見つける。

商い

「A41枚アンケートで利益を5倍にする方法について」をテーマに販売促進コンサルタントの岡本達彦氏を迎え、基調講演が行われました。



講師：岡本達彦氏

翌日には近畿3地区へ石屋をうならせる充実のエクスカージョンが催されました。

## 奈良 ツアー参加人数:45名 奈良の歴史的石造物と薬師寺復興伽藍

五輪塔の原型といわれる西大寺の叡尊塔。悠久の時が石肌に刻まれとにかく美しく神々しかったです。そのほか、一見さんでは拝見できない所から仏教伝来まつわるものを色々見ることができ、奈良に居ながら世界を旅した気分になりました。[岡山県支部 小野純子]



薬師寺 玄奘三蔵院



西大寺 奥院五輪塔



般若寺 十三重塔

## 京都 ツアー参加人数:33名 京石工芸の最高峰、西村金造氏を訪ねる



京都駅から鴨川を北上し京都大学から東へ向かい、白川石の産地だった白川沿いの山道をしばらく走ると(株)西村石灯呂店に到着。高麗時代の巨大な朝鮮九重層塔が西村金造・大造氏とともに迎えてくれた。まず鹿兒島から来た仁王像が見守る石門をくぐり木立の中を進むとそこはまさに温故知新! 石造物の庭園博物館だった。

飛鳥、鎌倉時代の重要文化財クラスの仏塔、奈良東大寺で使用されていた巨大礎石、近世の灯笼群、そして金造氏が長年の見識で考案した曼荼羅敷石、石塔、井筒など約50点が新緑の木々と鮮やかな苔と調和し、1つ1つが意味合いのあるしつらえて配置されている。雨で濡れたその姿は見事に輝き、生き生きとし、金造氏と交流のあった彫刻家イサムノグチ氏が、完成された作品に水をかけることで活力を与えようという話を思い出した。この場所は古からの仏塔、産業生活遺産石造物がそれぞれの役目を終え、安住の地として自ら金造氏の元へ自然に集まって来たように思える。石造物について話す金造氏は終始こやかで、まるで愛する我が子を語るようであった。その後京都高桐院型石灯笼の製作ビデオを鑑賞、工房と作品展示場を見学した。自然林の斜面にある200点以上の作品が自然植物と土と石畳石段に調和し、一見無造作であるが計算されているようで見事であった。[香川県支部 岡本俊之]

雨足が少し強くなる頃、南小松八幡神社に到着。地元の平出直厚氏(平出石材工業(有))より狛犬の説明を頂く。この辺りは古来良質の御影石が豊富に産出され、集落の人々は何らかの形で石材に関わっていた。明治15年から、地元の名工「中野甚八」より2年間掛け作られ、高さ5尺を超える大きさ。その費用は製作期間中の生活を支えるという形で支払われたそうである。

約百年前に、名工中の名工と言われる「嘉兵衛」作7尺奥の院型灯笼。個人邸の庭にあり、嘉兵衛の持ち山より産出される細目材を使用し、その形のみならず細部に凝る緻密な彫刻、なめらかな表面の小叩き仕上げに時間を忘れ、見入ってしまう。

次に向かったのは南比良の「百間堤」石工と村民により約6年かけ作られた、長さ百間(180m)中十間(18m)の野面積みの堤防。重機のない時代に大きな石を積み上げた情熱にただ感嘆するばかり。坂本にて名代鶴喜そばを頂き、滋賀院門跡で穴太積み石垣を見て、日吉大社の日吉三橋へ。その一つの二宮橋。豊臣秀吉より寄進された当時は木造であったが、345年前に石造りに架け替えられた。巾5m長さ13.9mで桁上に1枚の大きさが巾3尺3寸長さ13尺厚み1尺で半円形に反った加工をした橋板が20枚程渡されている。一つ一つの用材は大きい、細部は精密正確に加工されている。この様な作品や建造物を作りえる技術がある方々がおり、それを評価し支援する方々がいた時代があったことに、今は感謝するしかないのだろうか。[東京都支部 大代賢一]

## 滋賀 ツアー参加人数:32名 滋賀の石工が遺した技に触れて

雨足が少し強くなる頃、南小松八幡神社に到着。地元の平出直厚氏(平出石材工業(有))より狛犬の説明を頂く。この辺りは古来良質の御影石が豊富に産出され、集落の人々は何らかの形で石材に関わっていた。明治15年から、地元の名工「中野甚八」より2年間掛け作られ、高さ5尺を超える大きさ。その費用は製作期間中の生活を支えるという形で支払われたそうである。

約百年前に、名工中の名工と言われる「嘉兵衛」作7尺奥の院型灯笼。個人邸の庭にあり、嘉兵衛の持ち山より産出される細目材を使用し、その形のみならず細部に凝る緻密な彫刻、なめらかな表面の小叩き仕上げに時間を忘れ、見入ってしまう。

次に向かったのは南比良の「百間堤」石工と村民により約6年かけ作られた、長さ百間(180m)中十間(18m)の野面積みの堤防。重機のない時代に大きな石を積み上げた情熱にただ感嘆するばかり。坂本にて名代鶴喜そばを頂き、滋賀院門跡で穴太積み石垣を見て、日吉大社の日吉三橋へ。その一つの二宮橋。豊臣秀吉より寄進された当時は木造であったが、345年前に石造りに架け替えられた。巾5m長さ13.9mで桁上に1枚の大きさが巾3尺3寸長さ13尺厚み1尺で半円形に反った加工をした橋板が20枚程渡されている。一つ一つの用材は大きい、細部は精密正確に加工されている。この様な作品や建造物を作りえる技術がある方々がおり、それを評価し支援する方々がいた時代があったことに、今は感謝するしかないのだろうか。[東京都支部 大代賢一]



南小松八幡神社狛犬



嘉兵衛灯笼



日吉大社二宮橋

**笑** 祝賀会では、なにわの良さが満載。  
4組の吉本芸人(川上じゅん、和牛、モンブラン、笑い飯)により、笑いの絶えない、楽しく盛大な祝賀会となりました。



川上じゅんと二上委員長 和牛による漫才  
による腹話術  
モンブランと射場会長・福川副会長が鼻息でふうせんを割れるまでふくらませる  
笑い飯による漫才

## 第6回定時総会 実行委員長(近畿地区長) 水野充弘

### ▶目指したもの

初の大阪開催を有意義なものにしたいと、「近畿地区のパワーを見せよう」が合言葉のようになり、スタートしたのが1年前でした。総会だけでなく、明日への活力になるような企画を立てたい、そこから『笑いと商い』というキャッチフレーズにしました。

### ▶開催に至るまで

ほぼ月に一回、各支部長をはじめ支部役員が手弁当で集まりました。2月には、和歌山県支部の立上げにあわせようと和歌山での会議をしました。近畿地区で開催される総会に、全国47都道府県支部ができましたという形が理想でしたが、力及ばず間にあわなかったことが一番の心残りです。

### ▶良かったこと、残すことができたと思われること。

まずは、無事に終了したことが一番です。何回も打合せを重ねても抜けている事があり、当日までバタバタしましたが、この総会の準備ができたことで今まで以上に近畿地区のまとまりが生まれたと思います。ITやメディアが急成長している現代、世界が小さくなってきている今日この頃、実行委員会での情報交換や情報を共有することが、今後の強みにつながったのではないかと思います。この地区の連帯感は、何事にも変えがたいと思います。日々の仕事の中でもきっと活かせることがあるはず。何事も体験することが大切、知っているだけじゃ半人前…!



<p><b>新入会員紹介</b> 会員数:1278名 (2015年5月14日現在)</p>	<p><b>青森県</b> 株式会社まごころ価格ドットコム 会員代表:北山修哉 設立:平成21年12月 業種:墓石</p>	<p><b>岩手県</b> 株式会社いしや 代表:遠藤大真 設立:昭和元年 業種:墓石・加工</p>	<p><b>山形県</b> 株式会社石駒 代表:松田勝行 設立:万延元年 業種:建築・墓石・加工</p>	<p><b>東京都</b> 株式会社日本香堂 代表:太田博祥 設立:昭和17年7月 業種:関連</p>
<p><b>長野県</b> 株式会社上野石材商会 代表:竹内哲也 設立:昭和39年 業種:墓石</p>	<p><b>長野県</b> 株式会社小島石材工芸 代表:小島昭康 設立:平成10年4月 業種:墓石</p>	<p><b>愛知県</b> 株式会社かけひ石材店 代表:寛哲也 設立:明治45年 業種:墓石・加工</p>	<p><b>滋賀県</b> 株式会社共盛石材市場 代表:中村知史 設立:昭和49年4月 業種:加工・輸入</p>	<p><b>兵庫県</b> 株式会社神鋼石材(株) 代表:太田義人 設立:昭和45年4月 業種:墓石</p>

## 建築・環境部会 部会長 谷本 弘

### 見積りの価格改正に取り組んでいます。

現在、部会においては、見積りの価格改正(≒30%UP)の実施に取り組んでいます。建築環境部門の石材加工は、80%以上が中国加工の製品となっていますが、中国工場の労務費上昇や円安による影響で、材料費が2割以上増嵩しています。同時に、現場の据付職人の不足や社会保険加入問題により、労務費が上昇しているため、この取り組みを行っています。また、2020年の東京オリンピックに向けて、現場職人の高齢化や若手のなり手不足による職人不足が一番の問題点となっています。

この石材業界に、若手社員、若手職人が生き生きと働いて、生きがいを感じる職場、業界にする事がこの部会のめざすところです。日本の建築に、日本の石材または世界各国の石材を1枚でも多く使用して頂き、新しい石種、新しいデザインをどんどん提供することができればと思います。



趣味：世界の工場めぐり

## 関連部会 部会長 竹ノ内 壮太郎

### 今できることを具体的に進めていく

関連部会では、「今できることを具体的に進めていく」をキャッチフレーズに所属する130社それぞれの企業が持つ、さまざまな商材・サービス・ノウハウを幅広く提供することで会員のお役に立てるよう活動いたしております。今期の事業計画として、関連部会企業の会社案内や取扱商品を紹介する「関連部会企業紹介カタログ」の製作と発刊、関連部会が主催・運営する「ミニ展示会」開催を企画し、「石製品」を作るために必要な機材や用具のご紹介と情報提供をさせていただきます。

さらには、採石・原石部会、加工部会と連携協力して、石材加工に役立つ勉強会や講習会、石材業の未来を話し合う「ストーンマン・カフェ」等を実施して行くなど盛りだくさんの企画があります。関連部会として、これらさまざまな取り組みを通じて国内石材業界全体を活性化させたいと願っております。幅広い皆様の参画をお待ち致しております。



趣味：読書、旅行、スキー

## PRAY for (ONE) 小さな祈りのプロジェクト

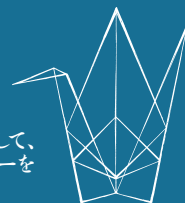
### 対談1

全日本宗教用具協同組合 常任理事

(一社)日本石材産業協会 広報委員長

## 保志康徳氏 × 上野國光

参加団体から代表して、お二人のインタビューをご紹介します。



我々の業界は世間一般的にはうさんくさい業界と思われている。企業サポーターはビッグネームにお願いしたいね。

▶一般社団法人 PRAY for (ONE)としてこのプロジェクトが立ち上がって3ヶ月が経ちましたが、プロジェクトの状況はいかがですか？

上野 3月1日に(株)日本香堂提供の笑点枠でPRAY for (ONE)のCMが全国ネットで放映され、キックオフとしては最高の出だしだったと思います。できればこうした取り組みが地方のTV局にも波及するとうれしいです。

保志 ホームページのアクセス件数もふえ、サポーターの企業数も徐々に増えていますね。

▶日本石材産業協会の会員にこのプロジェクトについて、もっと知って頂きたいと思いますが、プロジェクト設立のきっかけは何ですか？

保志 何かのきっかけで、4団体(\*注)の代表者が集まったとき、我々の業界は、葬儀や墓石の値段など、不明瞭な部分があって、世間一般的にうさんくさい業界と思われているのでは、という話題になったんですよ。だけど、大切なことから、堂々とおしゃれに自然な形で、みんなに受け入れられるようにしていきたいね。というのがこのプロジェクトの始まりかな？最初は「ナムネット」の名称にしようかという意見もありましたね。そんなタイミングに博報堂さんから協力の依頼がありまして、「PRAY for (ONE)」という提案に、ほぼ全会一致で決定しました。宗教じみていない、日本人の心にある、忘れかけていたものを思いだしてもらおう。一般の人に受け入れられる発信になるかな、と思いましたね。完成CMを見てもわかるけど、伝えやすい言葉で発信することで、消費者とのギャップを埋められると感じました。

上野 宗教的な用語を使ったり、供養と言うと一般の人には伝わりづらいけど、単純に誰かのために祈ることはわかりやすいし、一般の人に受

け入れられる共通語にしてもらえると思います。それと、「折り紙」を媒体に使ったのが良かったです。作業をみんなでやることで、一つの方向にまとまるし、知らない人同士、コミュニケーションのきっかけになって仲良くなれます。誰かのことを祈りながら、折り鶴を折るなんて、いいと思いませんか？

▶今後のプロジェクトの方向性についてお聞かせください。

保志 宗教団体がやってるけど、宗教じみていないものにしたいですね。お金もかかるし、実質的なメリットが見えてこないのが、「何のために？」と言われることもあるけど、誰かのために祈ることは大事ですし、このプロジェクトがきっかけで、お客様が私たちの方を向いてくれると良いと思います。目先の利点では駄目だと思いますよ。商品提案もそうですが、お客様が気づいてくれるきっかけを提案することをプロとしてやるべきだと思います。

▶少し時間が必要と思いますが、このプロジェクトの出口としては、どんなところですか？

保志 一応、区切りとしては東京オリンピックまでとして、この時点で全世界の人々に認められれば良いと思っています。今は、その土台作りの段階と思っています。

上野 私の中では、折り鶴を日本全国1億2千万人が折れるまで。もっと言えば、世界の人々が折れるまでにしたい。わかりやすい目標が良いかなと。子供が生まれて、最初に教える習慣が折り鶴になったら最高です。そして、企業サポーターは、ビッグネームにもお願いしたいですね。

▶今回のインタビューの内容で、書き切れていないことがまだまだたくさんありました。また次回の掲載にご期待ください。そして皆さん、まずはPRAY for (ONE)のホームページにアクセスしてください!!

▶▶▶<http://prayforone.jp/>

注)全日本宗教用具協同組合、全日本葬祭業協同組合連合会、日本石材産業協会、東京都仏教連合会



石産協広報委員長 上野國光



全日本宗教用具協同組合常任理事 保志康徳氏

お墓ディレクターNEWS

# お墓ディレクターの価値

2015年6月25日(木) 大阪市中央公会堂

6月25日(木)大阪市中央公会堂にて、初のお墓ディレクター委員会+広報委員会の合同会議が行われました。一般消費者に対し、お墓ディレクターをどのように伝えていくか? 新聞やテレビ、雑誌、マスコミにいかにか取り上げてもらうか? お墓ディレクターの知名度をいかにあげるか? などについて話し合いました。広報委員会と合同でディスカッションすることで単独の委員会とはまた違った、新しいアイデアが生まれ、お墓ディレクターをもっと価値ある資格にしたいと強く感じました。「お墓ディレクターの資格を取ってよかった」と言って貰えることや「資格を取りたい」と思う人が一人でも多く検定試験に挑戦してもらえるよう、魅力ある情報を発信していくため、これからも広報委員会とお墓ディレクター委員会を合同で行う予定です。[お墓ディレクター委員会 清水 勲]



上野委員長・中村委員長



新しいアイデア生まれる

次世代共育委員会 委員長 山口康二

## 明るく、楽しく、元気よく!

私たちは次世代の石材業界を担う若手石材人同士のネットワークを作り、共に成長していくための活動を行なっていく委員会です。活動のモットーは、明るく、楽しく、元気よく! これまでに開催した主な事業は「全国若手石屋クイズ王選手権」「全国石材青年部長サミット」などで、「楽しみながら学ぶ」を意識した活動に力を注いでいます。今後も各地の業界イベントにあわせる形で若手業界人向けのイベント・研修などを予定しているほか、若手業界人向けニュースレターの発行も計画しています。若手業界人の皆さん! 全国各地には前向きに石材業の仕事に取り組んでいる若手がたくさんいます! そんな仲間と共に、これからの石材業界を明るく、楽しく、元気なものにしていくためにも、ぜひ当委員会事業にご参加ください! 楽しい(アフター会議の)交流も大事にしています! 「楽しく学び合い、刺激し合える」交流の輪が広がること間違いなし! 皆さん、次世代共育委員会事業へのご参加・ご協力、何卒よろしくお祈りします!



委員会・部会活動予定

## エンディング産業展への後援が決定しました。

2015年12月8日(火)~10日(木) @東京ビッグサイト

昨年、新しい埋葬の形が提案されている中で石材業界として正しい情報を伝える目的で後援が決定しました。石産協としてブース出展もあり、主にお墓ディレクターを前面にPR、お墓参りの日やお墓物語などの石産協の活動を紹介する予定です。また、射場会長のセミナーも予定されています。同封のパンフレットをご覧ください。[広報委員会]

## 会長立候補者募集中

2015年7月6日(月)~7月31日(金)

2016年度役員改選にあたり、会長立候補者の募集が始まります。有資格者の紹介を同封させていただきます。[役員候補者管理委員会]

### 委員会・部会活動(7月~9月)

7月22日(水)	お墓ディレクター委員会	9月15日(火)	輸入卸商部会
8月20日(木)	お墓ディレクター+広報合同委員会	9月16日(水)	建築環境部会

事業案内 2015 7月~10月

石産協の行事はgoogleカレンダーにて公開しています。支部の活動などもご覧いただけますので是非ご利用ください。URLは石産協ホームページの最新情報からご確認ください。

7月21日(火)  
第3回  
正副会長会議  
東京都

8月18日(火)  
全国地区長  
連絡会議  
東京都

8月19日(水)  
第1回  
常任理事会  
東京都

9月26日(土)・27日(日)  
終活フェスタ 東京都  
(一社)終活カウンセラー協会主催の終活フェスタに今年も石産協ブースを出展。お墓ディレクター委員会がお墓相談室を開催します。

10月3日(土)  
建築石材アドバイザー試験  
東京 大垣 大阪  
全国建築石材工業会が主催する検定試験要項を同封しています。石産協会員も受験可能です。申込期間:8月3日(月)~24日(月)

**始動!!! 石工男子プロジェクト!**

**石工男子ムーブメント! 見せつけよう! 俺たちの魂の仕事!**

たくさんのエントリーありがとうございました! 選考開始します☆☆☆ 駆け込みエントリーは今すぐ!